

【開講日】平成31年3月8日(金)

あき 三鷹サテライト教室

文化

三鷹

302060g

【連続講座】平清盛生誕900年記念
近松作「出世景清」を読む
— 近世悲劇の確立 —

受講料 (振込額)	1,500円 ※連続講座「平清盛生誕900年記念」全7講座お申し込みの場合9,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	金曜日		日程	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全1回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	千葉大学准教授・本学能楽資料センター研究員 田草川 みずき (たくさがわ みずき)				
	早稲田大学大学院博士後期課程単位取得退学。博士(文学)早稲田大学。専攻は近世文学および日本古典演劇(特に人形浄瑠璃文楽・能)。早稲田大学演劇博物館助手、日本学術振興会特別研究員等を経て、千葉大学高等教育研究機構准教授、早稲田大学演劇博物館招聘研究員、武蔵野大学能楽資料センター非常勤研究員。 主要著書に『浄瑠璃と謡文化—宇治加賀掾から近松・義太夫へ』(早稲田大学出版部、2012年)。早稲田大学名誉教授・内山美樹子氏とともに、朝日新聞の文楽劇評を担当。第5回日本近世文学会賞(2009年)、第28回公益財団法人清栄会奨励賞(研究者部門・2015年)受賞。				
内容	平家の侍大将・悪七兵衛景清は、『平家物語』で勇猛な武将として描かれますが、その登場場面はごく一部です。しかし、近松はこの景清を主人公に、日本で最初の長編悲劇とされる「出世景清」を執筆しました。 本講座では、「出世景清」以前に成立した、いわゆる〈景清物〉を確認した上で、それらを下敷きに書かれた「出世景清」が、いかにして日本の戯曲史を塗り替える画期的な作品となり得たのかを探ります。平家に忠節を誓う景清はもちろんのこと、その恋人・阿古屋の心情に着目し、「出世景清」以前の作品では〈悪女〉であった阿古屋を、のちに文楽および歌舞伎の人気曲「阿古屋琴責」のヒロインとなるまでに変化させた、近松の巧みな人物造型について考察する予定です。				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

開室日: 月～金曜日 9:30～18:00
: 土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室 平成28年3月より南口に移転



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7 F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。